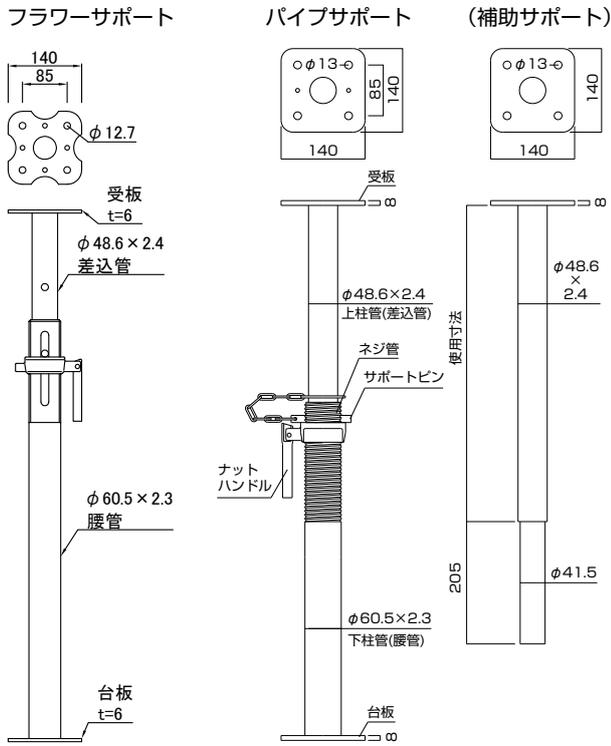


◆形状・寸法図



■仕様

品名	フラワーサポート			パイプサポート		
	記号	使用寸法 (mm)	質量 (kg)	記号	使用寸法 (mm)	質量 (kg)
補助サポート	—	—	—	4S	1200	5.1
	—	—	—	5S	1500	6.0
サポート	10Z	320~440	4.0	—		
	—	—	—	12S	370~505	5.0
	15Z	410~620	4.5	—		
	20Z	620~940	6.0	—		
	30Z	920~1415	7.5	—		
	40Z	1220~1995	9.5	—		
	50Z	1520~2590	11.0	50S	1535~2570	11.5
	60Z	1720~3040	12.5	60S	1780~3055	13.0
	70Z	2120~3440	13.5	75S	2150~3425	14.0
90Z	2620~3940	14.5	90S	2650~3915	15.0	

※水平つなぎを設け、有効な拘束が行われている場合の許容支持力は、パイプサポートの使用高さに関係なく、19.6kNとすることができます。但し、ここでいう有効な拘束とは、労働安全衛生規則第242条第6号のイで定められている高さ2m以内ごとに水平つなぎを二方向に設け、かつ、水平つなぎの変位を防止することを言います。

※補助サポート等をパイプサポートに継ぎ足し使用する場合は、高さが3.5mを超えるため、水平つなぎを設けることとなり、有効な拘束が行われている場合、その許容支持力は19.6kNとすることができます。

※パイプサポート等を継ぎ足し使用する場合は、労働安全衛生規則第242条の規定により2本までとし、継ぎ足し方法は、4本以上のボルト又は専用の金具を用いてつないでください。

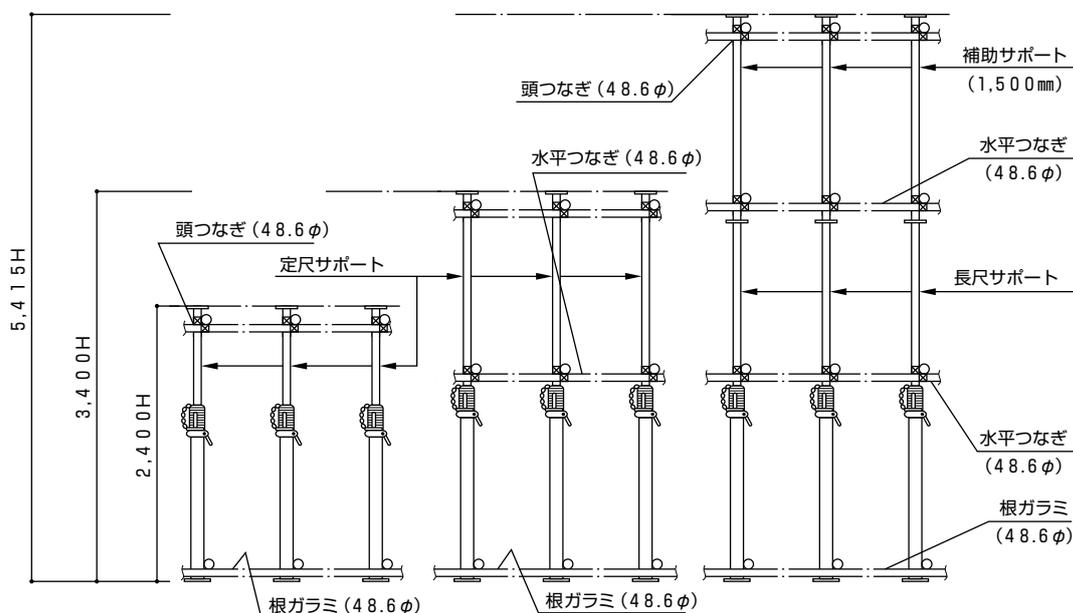
パイプサポートの許容支持力 (kN)

材端条件	関係あり	関係なし			
		使用高さ (m)			
		2以下	2~2.5	2.5~3	3~3.4
上下端 木材	19.6	19.6	17.6	13.7	9.8
上端 木材	19.6	19.6	18.6	16.6	14.7
下端 仕上げコンクリート					

(注) 上表中「関係あり」とは、パイプサポートについて高さ2m以内ごとに水平2方向ごとに水平つなぎを緊結金具で取付けることをいう。

◆つなぎ材の取り方

※パイプサポートにつなぎ材（48.6φ）で補強の際は必ずクランプをご使用ください。



⚠ 注意事項

1. パイプサポートを継いだ時、衝撃・偏心荷重・水平荷重のおそれがある時は、振れ止め及び斜材を設けてください。
2. パイプサポートの受板には一様に荷重をかけ、偏心荷重を起こさないようにしてください。
3. パイプにへこみを生じたものは取り替えてください。
4. 火入れ修理は強度の低下をまねき危険ですので、絶対に行わないでください。
5. 沈下防止の敷板及び根ガラミ、頭つなぎ処置をしてください。
6. パイプサポートと木製支柱の併用は許容荷重が一定しないため、危険ですので避けてください。
7. 作業時の点検事項は次の通りです。
 - 受板、台板の曲がり
 - パイプの曲がり、へこみ、傷等
 - ピンの曲がり
 - ネジ管の曲がり
 - 付属部品の状況

■大引受金具（パイプサポート用）

